
共生システム理工学類 カリキュラム・ポリシー

共生システム理工学類は、学類 DP 達成のため、次の3つを教育の柱とします。

- (1)基礎を重視した教育(基礎科目)
- (2)協働を重視した教育(文理融合科目、自由選択科目)
- (3)実践を重視した教育(実践科目、演習、卒業研究)

これらの具体化のために、「専門領域」を、「基礎科目」、「専攻専門科目(講義科目+文理融合科目+実践科目)」、「自由選択科目」、「演習」、「卒業研究」の5領域に区分します。5領域それぞれに基礎単位を必修化すると同時に、選択科目を可能な限り拡大し、きめ細やかな修学指導を行うことによって、学生の多様な学習ニーズに対応します。

共生システム理工学類を構成する3つの専攻は、次のような教育を特色とします。

[人間支援システム専攻]

人理解を中心とする人技術の教育を主体とします。

[産業システム工学専攻]

省資源・最適生産による持続循環型産業システムの教育を主体とします。

[環境システムマネジメント専攻]

自然資源の質的・量的確保のための環境保全・浄化・管理計画の教育を主体とします。

すべての専攻の「専門領域」で、理工系の基礎・基本科目と、経営マインド、環境マインドを理解する文理融合科目を設置しています。その上で、理工系の専門科目を配置し、少人数によるきめ細やかな教育支援体制と GPA 等による達成度評価により、学生の基礎学力を保証します。